



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月8日

上場会社名 株式会社 理経
 コード番号 8226 URL <http://www.rikei.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3345-2153

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	6,677	37.0	159		158		202	
30年3月期第3四半期	4,874	14.4	422		423		445	

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 201百万円 (%) 30年3月期第3四半期 440百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	13.40	
30年3月期第3四半期	29.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	6,453	3,867	59.9
30年3月期	6,944	4,069	58.6

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 3,867百万円 30年3月期 4,069百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		0.00	0.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成31年3月期の配当予想に関しては、現時点では未定であります。

3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	19.1	100		90		50		3.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	15,514,721 株	30年3月期	15,514,721 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	395,038 株	30年3月期	394,958 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	15,119,748 株	30年3月期3Q	15,119,764 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、相次ぐ自然災害の発生により経済活動への影響が懸念されたものの、雇用情勢や企業収益の改善傾向を背景に、緩やかな回復基調が続いております。一方で、海外では米国の政策動向や米中間をはじめとする貿易摩擦、金融資本市場の変動の影響等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、中期経営計画に基づき、現行三事業領域の強靱化と各事業間の連携を図り、安定した収益を確保するとともに、新たなビジネス領域への進出を図り、収益の拡大や市場環境の変化への対応を推進していくことで更なる業績の向上を最優先課題として日々努めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、連結売上高は66億7千7百万円（前年同期間比37.0%増）となりました。損益面では、営業損失は1億5千9百万円（前年同期間は4億2千2百万円の営業損失）、経常損失は1億5千8百万円（前年同期間は4億2千3百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億2百万円（前年同期間は4億4千5百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

システムソリューションにおきましては、前期同期間に中央省庁向けシステム更新の大型案件があり、売上高は20億5千3百万円（前年同期間比11.1%減）、営業損失は8千万円（前年同期間は5千7百万円の営業損失）となりました。

ネットワークソリューションにおきましては、映像配信システム案件が順調に推移し、売上高は8億3千5百万円（前年同期間比77.1%増）、営業損失は1億3百万円（前年同期間は2億9千8百万円の営業損失）となりました。

電子部品及び機器におきましては、株式会社エアロパートナーズの子会社化により、売上高は37億8千8百万円（前年同期間比81.1%増）、営業利益は2千4百万円（前年同期間は6千6百万円の営業損失）となりました。

なお、セグメント間取引については、相殺消去しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は54億7千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億5千7百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金1億7千9百万円、受取手形及売掛金4億6千3百万円、有価証券1億円が減少しましたが、商品及び製品1億円、前渡金1億8千4百万円が増加したことによりです。固定資産は9億8千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ3千3百万円減少いたしました。これは主に無形固定資産の減少によるものであります。

この結果、総資産は64億5千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億9千1百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の合計は22億4千8百万円、前連結会計年度末に比べ2億8千1百万円減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金4億8千1百万円減少となり、短期借入金8千万円、前受金1億9千3百万円が増加したことによりです。

固定負債は3億3千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円減少となりました。これは主に退職給付に係る負債が減少したためであります。

この結果、負債合計は25億8千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億8千9百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は38億6千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億1百万円減少となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失2億2百万円の計上となったことによりです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、平成30年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありませんが、今後の経済情勢は、米国の政策運営による金融市場の変動等、海外の政治動向への不透明感は依然として払拭されない状況が続いており、業績予想に影響を与える事が予想されます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,898,150	2,718,622
受取手形及び売掛金	2,312,469	1,848,649
有価証券	100,197	-
商品及び製品	208,456	309,142
前渡金	331,437	515,630
その他	78,974	79,866
貸倒引当金	△547	△583
流動資産合計	5,929,138	5,471,328
固定資産		
有形固定資産	403,507	420,739
無形固定資産		
のれん	131,227	110,108
その他	36,973	30,862
無形固定資産合計	168,200	140,971
投資その他の資産		
投資有価証券	147,770	141,133
繰延税金資産	66,393	48,775
その他	229,929	230,610
投資その他の資産合計	444,092	420,520
固定資産合計	1,015,800	982,231
資産合計	6,944,939	6,453,559
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,159,281	678,040
短期借入金	506,000	586,500
未払法人税等	27,543	38,869
前受金	544,854	738,784
その他	292,247	206,426
流動負債合計	2,529,925	2,248,621
固定負債		
退職給付に係る負債	261,516	237,931
役員退職慰労引当金	39,716	41,854
その他	44,482	57,416
固定負債合計	345,716	337,203
負債合計	2,875,642	2,585,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,426,916	3,426,916
資本剰余金	615,043	615,043
利益剰余金	175,906	△26,660
自己株式	△112,259	△112,274
株主資本合計	4,105,606	3,903,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,050	33,413
繰延ヘッジ損益	146	△1,021
土地再評価差額金	△11,613	△11,613
為替換算調整勘定	△61,360	△54,078
退職給付に係る調整累計額	△3,531	△1,989
その他の包括利益累計額合計	△36,309	△35,289
純資産合計	4,069,296	3,867,735
負債純資産合計	6,944,939	6,453,559

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	4,874,499	6,677,350
売上原価	3,863,643	5,220,441
売上総利益	1,010,855	1,456,909
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	695,671	812,807
退職給付費用	26,924	26,284
役員退職慰労引当金繰入額	-	2,137
のれん償却額	2,691	21,118
その他	707,685	754,280
販売費及び一般管理費合計	1,432,973	1,616,628
営業損失(△)	△422,117	△159,719
営業外収益		
受取利息	604	349
受取配当金	1,809	2,260
受取賃貸料	1,847	1,697
受取保険金	-	3,000
その他	1,086	1,670
営業外収益合計	5,347	8,977
営業外費用		
支払手数料	5,270	4,939
為替差損	-	2,620
その他	1,450	639
営業外費用合計	6,721	8,199
経常損失(△)	△423,490	△158,941
特別損失		
子会社移転費用	1,908	-
特別損失合計	1,908	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△425,399	△158,941
法人税、住民税及び事業税	11,238	26,093
法人税等調整額	8,909	17,531
法人税等合計	20,147	43,625
四半期純損失(△)	△445,546	△202,566
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△445,546	△202,566

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純損失(△)	△445,546	△202,566
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,560	△6,636
繰延ヘッジ損益	△10	△1,167
為替換算調整勘定	1,026	7,282
退職給付に係る調整額	2,245	1,541
その他の包括利益合計	4,822	1,019
四半期包括利益	△440,724	△201,547
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△440,724	△201,547
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	システムソリューション	ネットワークソリューション	電子部品及び機器			
売上高						
外部顧客への売上高	2,311,199	471,403	2,091,896	4,874,499	-	4,874,499
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,861	31,044	950	33,855	△33,855	-
計	2,313,060	502,448	2,092,846	4,908,355	△33,855	4,874,499
セグメント損失(△)	△57,069	△298,965	△66,083	△422,117	-	△422,117

(注)セグメント損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

システムソリューションにおいて、当社は株式会社ネットウエルシステムの株式を取得いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において65,073千円であります。

電子部品及び機器において、当社は株式会社エアロパートナーズの株式を取得いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において80,757千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	システムソリューション	ネットワークソリューション	電子部品及び機器			
売上高						
外部顧客への売上高	2,053,633	835,039	3,788,677	6,677,350	-	6,677,350
セグメント間の内部売上高又は振替高	18,732	37,057	1,641	57,431	△57,431	-
計	2,072,366	872,096	3,790,319	6,734,782	△57,431	6,677,350
セグメント利益又は損失(△)	△80,776	△103,146	24,204	△159,719	-	△159,719

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。